

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成28年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立飯能南高等学校		Bグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校として目指す方向が明確に示されている学校像である。地域から寄せられる期待に十分応え、スポーツコースが設置されている学校の特色や強みを生かしたものとなるように工夫していただきたい。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	取り組むべき課題が具体的に示され、四つの柱として設定されている。学校の置かれた状況などを改めて把握した上で、学校に取り組むべき課題を明確にし、中期的な視点から、更に検討・整理して目標の重点化を進めることが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	評価運営委員会と分掌・学年が連携し、学校自己評価システムが運営され、分掌・学年等のシートを作成している。「重点目標、評価項目、具体的方策」の連鎖が不十分などところがあるので、学校の課題の解決に向けて更に工夫していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	現状と課題や前年度の学校関係者評価に基づき、学校PR動画の作成やPTAの委員会活動の工夫などの方策が実施されている。改善を進めるために新たな視点で評価項目・方策を策定するとともに、評価指標については、教職員間でその達成イメージを共有できるような分かりやすいものを設定することが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長は校長だより等を通じて意向を教職員に示し、組織力を高め、学校自己評価システムを生かした学校経営に取り組もうとしている。校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深め、課題の解決に向けて、学校全体として更に組織的に取り組むことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	アンケートなどを実施し、学校自己評価のための情報が収集されている。課題や次年度への改善策を明らかにするために必要なデータとなるよう各種アンケートの工夫を進め、更に学校関係者の意見やアンケートの結果等を詳細に分析して、次年度のより具体的な取組につなげるようにしていただきたい。	
特記事項			